

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 五条西区

日 時 平成 22 年 7 月 26 日(火) 19:00 ~ 20:52

場 所 五条西公民館

出席者 (市 民) 36 人

(執行部) 14 人

井上市長、平島副市長、關教育長、木村総務部長、
三笠協働のまち推進担当部長、和田市民生活部長、
齋藤建設経済部長、山田教育部長、宮原上下水道部
長併会計管理者、田中議会事務局長

(事務局) 今泉経営企画課長、安恒広聴広報係長、諫山協働の
まち推進課長、藤田地域コミュニティ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- 1 開会あいさつ(経営企画課長) 19:00 ~
- 2 区自治会長あいさつ(区自治会長) 19:01 ~
- 3 市長あいさつ(市長) 19:03 ~
- 4 市職員自己紹介(経営企画課長) 19:06 ~
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:10 ~
- 6 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長) 19:24 ~
(別紙)
- 7 閉会あいさつ(副市長) 20:49 ~ 20:52

	発言の主旨	回答
意見 1	<p>水害対策について、五条西区は山や河川はないが、一度豪雨になると側溝が氾濫する。日本経済大学と医療福祉大学のため池からの流水が原因で、五条西区内を通過し、ライオンズマンション西側で合流する。7月4日の午前6時30分頃の豪雨でもメイン道路が冠水する状態が20分続いた。大学からの排水路を移設してほしい。不可能であれば排水路を拡幅してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>抜本的には、雨水幹線の改良が必要と考えています。即時の対応はできませんが計画的に対処していきたいと思えます。</p> <p>(上下水道部長)</p> <p>先週、課長、担当技師と現地確認を行いました。まずは、平野商店前の雨水幹線を1本増設します。22年度に実施設計をし、24年度の工事予定です。地区内の排水路の拡幅はかなり困難です。今後は地区内を通らない別ルートでの排水を検討していきたいと考えます。</p>
意見 2	<p>市営土木要望で、道路舗装、排水管の拡大、交通安全施設の整備、市有地の整備などを要望している。早急な着工をお願いしたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>現在、道整備交付金事業の採択を受け、高雄台・梅ヶ丘地区の側溝に蓋を掛け、舗装をやり直す整備を行っています。五条西区においても、このような補助事業に乗せて整備を行う必要があると考えています。</p>
意見 3	<p>災害危機管理について。リスクマネジメントについて、市はどのように考えているのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>平成15年災を教訓とし、まずは情報の提供が必要と判断し、防災無線を整備しました。また、大雨等の警報が出ると同時に職員が集まり、災害対策本部を設置し対応しているところです。</p>
意見 4	<p>リスクマネジメントの一例として、独居老人に対する対応は。住民と市と一緒にあって対応しなければならない。市はまずどのように考えるのか。</p>	<p>独居老人への福祉事業として、緊急通報装置の給付や給食サービスなどがあります。しかし市がすべての独居老人の対応をすることは困難です。そのためにも、地域力・市民力を高める必要があります。協働のまちづくりを推進する理由の一つです。</p>

意見 4	<p>太宰府は歴史と文化、史跡のまちであるが、県外から公共交通機関で太宰府を訪れた人々に対し、観世音寺や榎寺などせっかくいいものがあるのにPRできていない。アクセスがない。交通アクセスを考えないと九州国立博物館や太宰府天満宮だけになる。</p>	<p>(市長)</p> <p>太宰府市の将来像である「歴史と緑豊かな文化のまち」の実現に向けて、史跡地や文化財などの観光資源の整備に取り組んでおります。観光客の移動手段としては、市内を巡回するまほろば号を利用していただくために、運行状況が分かるようにしました。その他移動手段として、レンタサイクルやベロタクシーもあります。市内に点在する史跡や文化財を回遊していただけるよう、解説板やトイレの整備、花いっぱい運動等の仕掛けを行っています。</p>
意見 5	<p>市民農園の利用について、市長は現場主義を唱えているが職員に浸透していない。市民農園が3つ空いていて、草が繁茂し、近所迷惑であったので市に連絡したが、見にこなかった。更新が8月に決まるのでは遅い。夏野菜が植えられない。最長5年となっているが、折角精魂込めて土を作ったのが無駄になる。くじで当たらなければ継続使用できないと言われが、要綱を見ると使っている人が優先と書いてあった。待機者がいるなら次の人に使ってもらえるようになるべく手続きをしてほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>市民農園の応募者は多いが、貸し手は少ない状況です。あくまで借用ですので、永年に利用できるものではありませんし、必然的に使用期間が限られるものです。愛着を持って育てた土を手放さなければならないなどの問題があることも理解しています。そのような中で職員も公平なサービス提供のため頑張っていますので、ご理解願いたい。なお、要望の多い市民農園を今年度中に1カ所新設いたします。</p>
意見 6	<p>4年前、佛心寺の市民農園を借りて、2年間耕し、やっと良い土になったら3年目に地権者が第3者に貸すとのことで引き上げとなった。私有地であり、文句は言わないが、説明がないままでは今までの苦勞を思うと納得いかない。市が立ち会って、地権者を含めて最後の挨拶する場を設けてもらえないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>私も農業をしていますので、お気持ちは十分理解できます。契約は一定のルールに則り、お互い了解のもとに締結されていると認識しています。ただ、情というものもありますので、今後そのようなことが可能かどうか検討してみることも大事だと考えます。</p>

意見 7	同居した母が亡くなって、除籍謄本を請求した。続柄を聞かれ、長男の妻と答えたら、直系でないので請求できないと言われ、会社を休んで夫が請求した。40年も同居しているのに納得できない。	<p>(市長)</p> <p>個人情報や財産に関わる書類ですので、容易に発行することができません。市民課の職員は、私が市長であることを知っていますが、身分証明書の提示を求めてきます。法律に則り交付しているのご理解願います。</p> <p>(市民部長)</p> <p>個人情報保護の観点から、法務局の指導に基づき、本人確認を行っています。免許証などの証明をお持ちでない方には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。</p>
意見 8	土曜開庁もお昼まででは利用できない。夜 7 時まで開庁しているほうが、仕事を休まなくても利用できる。	<p>(市長)</p> <p>土曜開庁は、質の高い市民サービスを目指し、20年の2月から試行を経て22年2月から本格実施をしています。住民ニーズや費用対効果を調査・研究し、最小限での取り組みとしてスタートしました。今後は需要状況を見ながら研究していきたいと考えます。さらに、来年2月からは総合窓口(ワンストップ)を設けて住民サービスに努めていく予定です。</p> <p>(総務部長)</p> <p>簡単な証明証の発行と時間がかかる手続きなどを事前に振り分け、待ち時間の短縮になるよう改善いたします。</p>
意見 9	男女共同参画について。今日出席している管理職は全員男性であるが、10年後には女性の管理職もいてほしい。庁内の男女共同参画について聞きたい。	<p>(市長)</p> <p>各種委員会や市議会議員などの女性の登用率は27～28%です。市の計画は35%を目標としていますが、当面は30%を目指しています。人権意識を高めるまちづくりを推進することにより女性やハンディを持った人の登用が高まると考えます。男性だから女性だけ</p>

		らということではなく、一人一人の個性や資質を大切にすると人事登用を行いたいと考えています。そのような中で将来、女性の管理職が増えればと思います。
意見 10	国の借金は 1000 兆円になると聞く。市財政状況の将来の展望は。	(市長) 平成 15 年の災害や史跡地購入、都市基盤整備のため借金が膨らんできましたが、基盤整備もある程度完了し、事業量に伴い職員数も減少し、人件費などを押さえ、借金残高はここ数年、減少傾向にあります。借金を全くしない予算編成は不可能ですが、身の丈に合った財政運営を目指していきます。財政状況は、市政だよりで随時公表していますのでご覧ください。太宰府市の財政展望は明るいです。
意見 11	西鉄二日市駅に東口ができ、道路も整備されたので、まほろば号を通してほしい。路線の見直しの際に検討してほしい。	(市長) 現在、西鉄の宇美線の既存路線バスを延長して、東口まで運行できないかと調査・研究しています。また、高齢化が高い湯の谷・湯の谷西区についても、年内には小さなバスの運行ができるよう努力しているところです。
意見 12	昨年の 6 月市有地が売却されアパートが建設された。境界から 150cm 離して建てるように法律で決まっているのに無視した。都市整備課はそのような業者を指導していない。駐車場も決まった数を確保していない。しっかり指導すべき。	(市長) 建築確認は、県の権限になっておりますが、何かあれば上申することは可能です。